

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 97	提案機関名 神奈川県山林種苗協同組合
要望問題名 無花粉ヒノキ採穂園の拡充整備並びに雄性不稔の無花粉ヒノキの開発、発見について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 今年度から無花粉ヒノキの苗木生産が始まりますが、現在の無花粉ヒノキは両性不稔のため、有性繁殖による苗木生産に限られています。このため、当面は挿し穂採取のための無花粉ヒノキ採穂園の拡充整備が必要です。無花粉ヒノキ採穂園の拡充整備をお願い致します。 また、無花粉ヒノキの苗木を大量生産するためには、種子による生産が必要です。雄性不稔の無花粉ヒノキの開発、発見に集中した研究を進めていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部研究連携課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 革新的技術による無花粉スギ・ヒノキ苗木生産の効率化・省力化と無花粉品種の拡大			
対応の内容等 無花粉ヒノキについては、全国に先駆けて平成24年に秦野市内の山林で発見し「神奈川無花粉ヒ1号」として品種登録出願を行ったところです。 当品種は両性不稔であるため種子による苗木生産を実施することができないことから、引き続きヒノキ林で探索を行っており、平成30年度には3,364本の調査を行ったが、無花粉ヒノキを発見することができなかった。そこで、ヒノキ林での調査と並行して、県内で選抜した精英樹の自殖実験による無花粉ヒノキの探索を進めており、早期選抜及び苗木生産の実用化を目指して取り組んでいきます。 なお、無花粉ヒノキの採穂園の拡充整備については、令和元年度中に実施予定です。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			